

オルビス、全国5都市の地元オーケストラを支援

～「ORBIS THE CONCERT 2011」を開催～

2011年12月6日(火)～25日(日) 開催地:東京・名古屋・福岡・大阪・札幌

ポーラ・オルビスグループのオルビス株式会社(本社:東京都品川区、社長:高谷成夫)は、芸術文化・地域支援活動の一環として、「ORBIS THE CONCERT 2011(オルビス・ザ・コンサート 2011)」を開催します。

オルビスのお客さまをはじめ計9,000名を招待し、極上の音楽をお届けすると同時に、各地域の交響楽団への支援を通じて音楽普及活動に貢献し、芸術文化の振興につなげることを目的としています。



「ORBIS THE CONCERT」は「よいものづくり」に取り組む化粧品会社のオルビスが、商品でのサポート以外にもお客さまの毎日の生活のさらなる充実に役立てないかとの思いから、内面の豊かさや美しさにつながるような美しい音色を提供するために2005年よりスタートした音楽コンサートです。開始以来、現在までに34,000名を超えるお客さまを招待し、「こんなにも癒されるとは思わなかった」「初めてのオーケストラの演奏を生で聴き、とても感動した」「明日も頑張ろうと思えるくらいエネルギーをもらえた」など沢山の喜びの声をいただいています。6回目となる今年は、指揮者に竹本泰蔵氏、ヴァイオリンに奥村愛氏を迎え、“L. アンダーソンのクリスマスソングと映画を彩るクラシックの名曲”を各地域のオーケストラ楽団と共にお届けします。

オーケストラ楽団は、演奏会のチケット収入だけでは運営することが困難で、国や自治体の補助金、企業や個人の寄付により成り立っていますが、国や自治体からの補助金は年々縮減されているのが現状です。より多くの方に、美しい音色に包まれて心癒され、生活をうるおす至福の時間を過ごしていただくためにも、各地域の交響楽団への支援により音楽普及活動に貢献し、芸術文化の振興にもつながればと考えています。

なお、今年は被災地復興支援を目的としたチャリティコンサートの意味合いも兼ねており、東日本大震災で被災された方々への継続的な復興支援活動として進めている「いつもプロジェクト」の一環として、各会場にて募金を募り、被災地のご要望に沿った寄付や、復興・創生支援活動に役立てます。

【本件に関するお問い合わせ先】(株) ポーラ・オルビスホールディングス 広報・IR室

Tel 03-3563-5540 / Fax 03-3563-5543

参考資料

【開催スケジュール】～全国 5 都市 5 公演

公演日・開演時間	公演会場	管弦楽
12月6日 (火) 19:00	サントリーホール	東京交響楽団
12月7日 (水) 18:45	愛知県芸術劇場コンサートホール	名古屋フィルハーモニー交響楽団
12月15日(木) 18:45	アクロス福岡シンフォニーホール	九州交響楽団
12月17日(土) 15:00	ザ・シンフォニーホール	日本センチュリー交響楽団
12月25日(日) 15:00	札幌コンサートホールKitara	札幌交響楽団

【指揮者 竹本 泰蔵】

1977年に開催されたカラヤン・コンクール・ジャパンで、ベルリン・フィルを指揮し、第2位に入賞。カラヤン氏に招かれて、ベルリンを中心に研鑽を積む。帰国後は全国の主要オーケストラに客演し、第一線で活躍中。近年では、「映画の感動をライブ・コンサートで」との熱い想いをこめて、映画で使われたサウンドに出来るだけ忠実なスコアを復元したオーケストラ楽譜「オリジナル・シネマ・サウンズ」(O.C.S)シリーズを制作。次々にコンサートでとり上げ、その本物のサウンドで多くの聴衆を魅了し続けている。
所属:有)ともだち



【ヴァイオリン 奥村 愛】

7歳までアムステルダムに在住。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースで学ぶ。辰巳朋子、ライナー・ホーネックの各氏に師事。全日本学生音楽コンクール全国大会中学生の部第1位、日本音楽コンクール第2位、他受賞多数。国内外の多数のオーケストラと共演を重ねている。親しみやすいプログラミングと自然体なトークによるリサイタルは各地で大好評を得ている。親子向けコンサートやワークショップも積極的に展開中。テレビ・ラジオ等への出演も多く、多彩な活躍で注目されている。



【出演オーケストラより】

日本センチュリー交響楽団(12月17日(水)大阪公演に出演) 常務理事 野崎様

今年4月から大阪府からの補助金がゼロとなり、オーケストラ名を大阪センチュリー交響楽団から日本センチュリー交響楽団に変更して新たなスタートを切りました。今後は多くの方からの支援を得て活動していかねばなりません。3月11日の東日本大震災により、逆に仙台フィルハーモニー管弦楽団の復興コンサートを支援する募金集めをする立場になりました。我々も被災地に音楽を届けて、多くの人を励まし、癒したいのですが、現地を知る仙台フィルにそれを託しました。世界中のオーケストラは演奏会のチケット収入だけでは運営することが不可能で、国や自治体の補助金、企業や個人の寄付によって成り立っています。歴史的に見ても、経済が悪化すると芸術団体への支援はいつも減らされてきましたが、今回は我々にとって最大の危機です。我々も国からの補助金、私的助成団体からの助成金、また個人の方のご寄付と同様、企業さんからも運営を補助する賛助金を頂いて活動を続けています。もし、チケット収入だけで生計を立てようとすると、最低数万円のチケット料金を設定しなければならず、演奏会が身近な存在ではなくなってしまいます。活動の中には、まったく収益のない青少年のためのコンサート、特別支援学校や病院でのコンサートもオーケストラの義務として行っています。コンサートへの企業協賛は間接的にこういった我々の音楽を通じた社会貢献活動に結びついております。

【いつもプロジェクトについて】

オルビスでは常に“いつも”の質を高めることを目指してきました。今回の大震災を受け、当たり前のようにあった“いつも”の生活が、どれほど大切なものであったかに、あらためて深く気づかされました。“いつも”の積み重ねが、その先の未来の“いつか”につながっている—その想いから、復興を支援し、かけがえのない日常を取り戻すお手伝いをしたいと、「いつもプロジェクト」を立ち上げオルビス社内に基金を設立しました。

いくつかの形でお客さまからいただいた募金は、この「いつもプロジェクト基金」にてお預かりし、被災地の方々のご要望にあわせた寄付や復興支援活動に使用させていただきます。



※ スキンケア募金は2011年9月30日を持ちまして終了しました